

あなたは練習試合で勝てば満足？

今日の2Cの黒板には、昨日の実力テストに取り組んだ皆さんへのねぎらいの言葉と、「わからなかった問題を後からやってみましたか」という投げかけが書かれていました。あなたはどうですか。できなかった問題に再挑戦してみましたか。

再挑戦した生徒はゼロではないと思いますが、非常に少ないのではないかな。実力テストが終わった開放感にどっぷりはまってしまう、「勉強は明日から」なんて決め込んでいる生徒も多いような気がします。

部活動で練習試合をしますよね。なぜするのでしょうかね。身体ならし？実戦の感覚を養うため？そういうこともあるでしょうが、私は「成果の確かめと課題の発見」が練習試合の最も大きな目的だと思います。

「こういうプレーをしたい」「このように試合運びをしたい」という理想に向けて取り組んできた練習が、どれくらい自分たちの血や肉となっているか。勝っても負けても、何が自分たちの課題で、今後どのような練習に力を入れ、どのようにそれを克服していくか。それらをはっきりさせるのが練習試合です。

そういう練習試合を積み重ねていくと、選手たちの意識は自然と高くなります。練習試合の勝ち負けにこだわらない選手たちは、自然と相手チームの優れたところを気付けるようになります。それを自分たちも身につけようとがんばります。最も無意味なのは「やりっ放し」の練習試合、勝ち負けを目的とする練習試合です。そういうチームは、おそらくその後の練習でも同じ練習ばかりを繰り返すことでしょう。

実力テストも全く同じです。「〇〇点超えた！」「A君に勝った！」で済ませているのは勝ち負けを目的にしているからです。練習試合にいくら勝ってもそれは練習。練習試合で何に気付कि、その後どのように克服し、どれくらい変化させたかが大切です。あなたはどうでしたか？

(六月十六日 記)

